テレタイム Z-Ub　交換マニュアル

はじめに

テレタイムZ-Ubの故障機と代替機を入れ替える手順についてご説明します。

入れ替え方法は以下の2つの方法があります。いずれかの方法でデータ移行をおこなってください。

・USBメモリを用いてデータ移行する方法

・クロノスPerformanceと通信をしてデータ移行する方法

・USB メモリを用いてデータ移行する方法

故障機の画面操作が可能な場合、USBメモリを用いてデータの移行をすることができます。

詳細な手順につきましては、「テレタイムZ_USBメモリを用いてのデータ移行」をご参照ください。

・クロノス Performance と通信をしてデータ移行する方法

代替機にLANアドレス（通信設定）を設定して、クロノスPerformanceから氏名等を送信することができます。

故障機が通信可能な場合、入れ替え前にクロノスPerformanceで「打刻データ」の取込みをおこない、

故障機の未送信打刻を 0 件の状態にしてください。

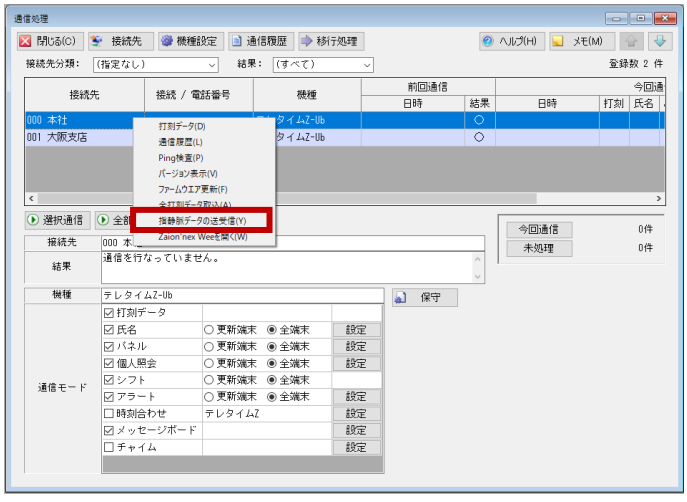
※代替機発送受付の際に通信設定を伺ったお客様

LAN アドレス（通信設定）を設定してある代替機を発送しているため、**手順 4** から操作をおこなってください。

1. クロノスPerformanceで故障機と通信

故障機が通信可能な場合は以下の操作をおこない、故障機の指静脈データをクロノスPerformanceに取込みます。

・[日常処理]→[通信処理]画面で
該当のタイムレコーダーを右クリックして、
[指静脈データの送受信]をクリック



注 意

故障機が通信できない場合は以下をご確認ください。

■指静脈データを共有しているZ-Ubを別途ご利用中の場合

ご利用中のZ-Ubと、手順1の[指静脈データの送受信]をおこなってください。

■クロノスPerformanceに指静脈データが取り込まれている場合

[社員]→[個人データの登録]→[通信情報]タブで各社員の[指静脈データ]が保存されていれば、

手順1の操作は不要です。

■上記のいずれでもない場合

代替機で指静脈データを再登録する必要があります。

2. 故障機で通信設定の確認

以下の手順で[通信設定]画面を開き、IP アドレス等を確認してください。

※故障機の画面操作ができない場合、ネットワークを構築したご担当者様に LAN アドレス(通信設定)を確認してください。

① [メニュー]をタッチ

② マスターカードをかざし、[Z 設定メニュー]をタッチ

※マスターカードがない場合は、[管理]をタッチ→

表示されたテンキーにパスワードを入力→

[確定]をタッチ→[Z 設定メニュー]をタッチ

③ [通信設定]をタッチ

有線 LAN 接続の場合

[通信設定]画面で、

・IP アドレス

・サブネットマスク

・ゲートウェイ

を確認します。

無線 LAN 接続の場合

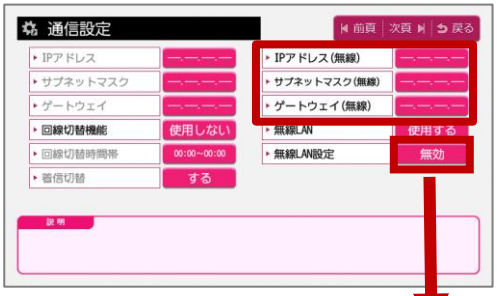
[通信設定]画面で、

・IP アドレス（無線）

・サブネットマスク（無線）

・ゲートウェイ（無線）

を確認します。



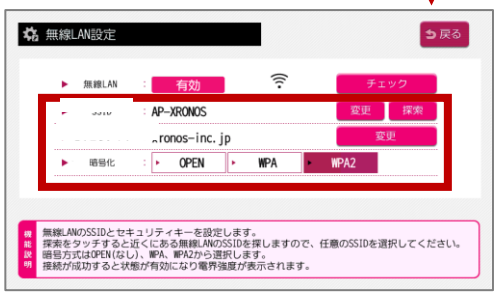
[無線 LAN 設定]をタッチして、

・SSID

・セキュリティキー

・暗号化

を確認します。



3. 代替機に通信設定を入力

故障機で確認した[通信設定]画面の内容を代替機の[通信設定]画面に入力します。

4. クロノスPerformanceで代替機と通信

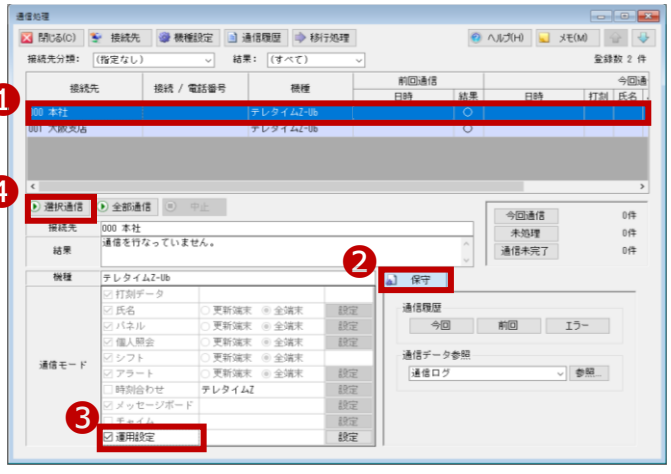
以下の手順で通信をおこない、運用設定・氏名・指静脈データを代替機に送ります。

① [日常処理]→[通信処理]画面で、
該当のタイムレコーダーを選択

② [保守]をクリック

③ [運用設定]にチェック

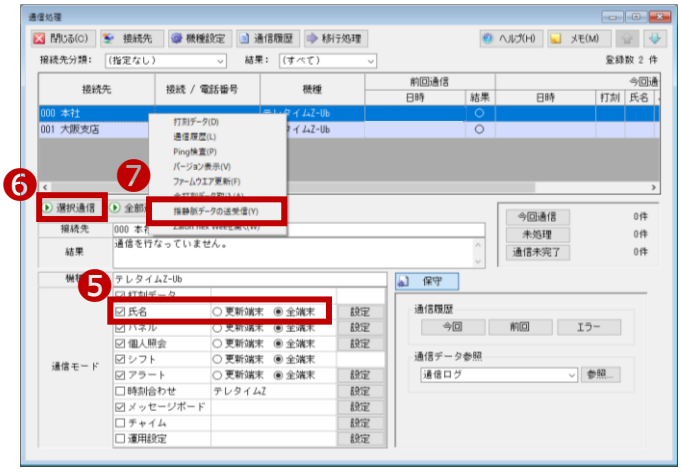
④ [選択通信]をクリック
通信が完了したら、[運用設定]のチェックを外す



⑤　[氏名]にチェックをして、[全端末]を選択
※[パネル]や[メッセージボード]などを
使用している場合は、それらにもチェック

⑥　[選択通信]をクリック

⑦　該当のタイムレコーダーを右クリックして、
[指静脈データの送受信]をクリック



注 意

手順②～④は、クロノスPerformanceで［運用設定］（テレタイムZ-Ubの日替時刻や、打刻音の設定など）の登録をしている場合に必要な操作です。

手順③の[運用設定]右横にある[設定]から、登録を確認することができます。

登録がない場合は、代替機を操作して設定が必要な場合があります。

※通信が失敗する場合は、代替機に設定した LAN アドレス（通信設定）に誤りがないかをご確認ください。
また、代替機の再起動をお試しください。解消しない場合は、サポート窓口へお問い合わせください。

5. 代替機で動作確認

指を置いて打刻ができることや、画面表示（パネル等）の内容をご確認をください。